

様式1:個別事業妥当性評価(個票)

1.事業の概要

(1) 地区・箇所・路線名	和歌山熊野灘地区	(7) 施策目標	26.漁獲量の維持・増大
(2) 施工場所	串本町沖合	(8) 事業の狙い	主に紀南地域の釣り漁業において重要な魚種であるカツオ・マグロ類の漁獲量を増大させる
(3) 事業名	水産環境整備事業		
(4) 担当部課	水産振興課		
(5) 総事業費	653 百万円	(9) ために用いた主な指標(※1)	[指標名] 表層型浮魚礁1基あたりのカツオ・マグロ類の年間漁獲量
(6) 事業期間	R7~R9		[指標値、現象] R1~R5の平均

2.事業内容の妥当性

		代替案との比較		
		当該事業案	主な代替案	
(1) 事業内容	① 事業内容の組み合わせ	[主な事業内容] 表層型浮魚礁の整備 [他の事業内容] なし	[主な事業内容] なし [他の事業内容] なし	
	② 主要な事業内容の位置・ルート	串本町、那智勝浦町沖合	なし	
	③ 主要な事業内容の規模	表層型浮魚礁2基	なし	
(2) 施策目標への貢献度	① 貢献度指標への効果	[指標名] カツオ・マグロ類の漁獲量 [効果の大きさ] 浮魚礁1基あたり年間148トンの増産	[指標名] なし [効果の大きさ] なし	
	② 効果発現のポイント	カツオ・マグロ類の増集効果が高い表層型浮魚礁を整備することで新たな漁場が創出されること。	なし	
(3) 副次効果	① 主な副次効果	漁場整備に伴う、航行経費、労務時間の削減	なし	
	② 効果発現のポイント	対象魚種が長期間浮魚礁に増集すること。	なし	
事業内容の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	検討事項の内容		
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	<input checked="" type="checkbox"/> 代替案なし	代替案と比較検討していない理由	代替案が存在しないため
			主な事業内容の規模の妥当性	(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明) 対象漁業であるひき縄釣りや一本釣りは、県南部沿岸で広範囲に営まれており、枯木灘および熊野灘に一定の規模を整備する必要があるが、現在熊野灘側には2基整備されているのみで効率創業や安全操業に支障をきたしているため新たに2基の増設は妥当である。
		<input type="checkbox"/> 代替案あり	<input type="checkbox"/> 事業内容の組み合わせ	
		<input type="checkbox"/> 主な事業内容の位置・ルート		
	<input type="checkbox"/> 主な事業内容の規模	(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明)		

3.経済効率面の妥当性

(1) 費用便益分析	① 便益	<input checked="" type="checkbox"/> 分析対象	[現在価値合計] 727,475 千円
		<input type="checkbox"/> 分析対象外	[主な内訳] ・ 漁獲可能資源の維持・培養効果 619,974 千円 ・ 漁業外産業への効果 107,501 千円 ・ 千円
	② 費用		[現在価値合計] 557,431 千円
	③ 分析結果	[費用便益比] 1.31	[純現在価値] 170,044 千円
	④ 分析結果に関する特記事項		
⑤ 参考資料名			
経済効率面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当		

4. 環境的側面の妥当性

		生活環境への影響	生態系への影響	その他環境への影響
(1) 環境への影響	<input type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業である	(環境影響評価の対象事業、又は対象事業でなくても影響のある場合は、懸念される影響を記入)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業でない	<input type="checkbox"/> 影響事項あり		
		<input checked="" type="checkbox"/> 影響事項なし		
(2) 対処方法	① 工法・施工方法等による配慮	(上記影響への工法・施工方法による工夫を記入)		
	② その他の方法による配慮	(上記影響へのその他の方法による工夫を記入)		
環境的側面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当			

5. 県が実施することの妥当性

		県が実施する理由
(1) 事業形態	<input type="checkbox"/> 他の事業主体との共同事業	(他の事業主体との共同事業の場合、県の役割を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 県のみが実施主体の事業	
県の実施 (2) することの理由	<input type="checkbox"/> 法令等で定められている	(法令名と法令の趣旨を記入)
	<input type="checkbox"/> 効果の及ぶ地理的範囲からみて県が実施するのが妥当	(効果の内容及ぶ当該効果の概ねの地理的範囲を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	(上記以外の理由を記入) 高度回遊魚であるカツオ・マグロ類は、県南部沿岸の広範囲で重要漁獲対象魚種となっている。これらの魚種を対象とした魚礁漁場整備は市町の枠を超えて行う必要があるため、県が実施する。
県が実施することの妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	

6. 計画の熟度

(1) 地元協力	<input checked="" type="checkbox"/> 協力あり	(地元協力の内容等を記入)
	<input type="checkbox"/> 協力なし	表層型浮魚礁の利用調整、管理運営の協力
(2) 事業調整の状況	<input type="checkbox"/> 事業調整の必要あり	(事業調整の状況を記入(自然公園、文化財、公団、他部門の法令等に係る調整))
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業調整の必要なし	
熟度の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	

7. 実施妥当性の総合評価

	判定	検討事項又は条件
評価結果	<input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 妥当(条件付き) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当	
総合所見	本事業は、漁獲量の維持、回復を目的とするものであり、本県の水産振興の方針と合致しており、事業の実施は必要である。	